

神戸西助け合いネットワークの いま・これから

「助け合い」の心を基本に、福祉・環境・地域コミュニティなど多方面の活動を続ける私たちNPO神戸西助け合いネットワーク。その概要と新たに取り組もうとしている事業などをご紹介します。

平成 23 年スタート 新事業 ＜介護ステーション たすけあい＞

4月1日に認可があり、指定訪問介護（指定介護予防訪問介護）事業としてホームヘルパーを派遣し、利用者の皆さんの身体介護や家事援助を行います。なお事務所を垂水区名谷町向井畑に設置しています。



＜作業所 たすけあい＞

指定障害福祉サービス事業所（生活介護・就労支援B型）として名谷事務所に専用建物がすでに完成。10月を目処に申請準備中です。

知的障害を持つ人たちに家具・日用品・自転車などのリサイクル作業を行っていただき、また天ぷら油回収作業の補助員としても参加いただく予定です。



リユース&リサイクル～MOTTAINAI～

環境問題対策の第一歩は「ごみを出さない」事につきます。これまでも取り組んできた家具、日用品、家電製品、自転車など、修理や補修、手入れをすればまだまだ使える品物を皆さんから引取り、必要な方へ販売します。また品物をお預かりして委託販売も展開します。

なお今回の東日本大震災で神戸に避難、転居してこられた人たちへは特に積極的に支援していきます。

その他継続しておこなっている事業

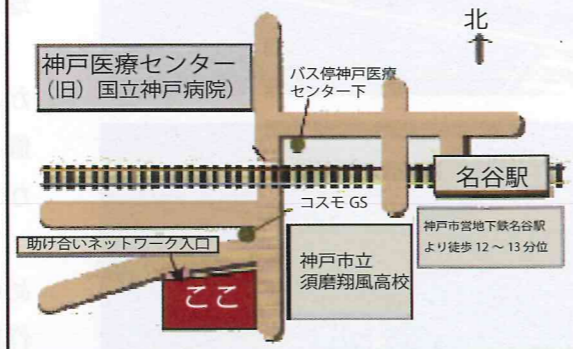
○何でも 110 番…日常の困りごと、家具の移動、植木の剪定、簡単な電気工事等、よろず引き受けます。お気軽にご相談下さい。
○地域支援事業…給食サービス、買い物や病院への移送サービスの他、ふれあい喫茶の運営、地域イベント（盆踊り・餅つき）等地域コミュニティづくりにもご利用下さい。

特定非営利法人（NPO 法人）
神戸西助け合いネットワーク
理事長 在里 俊一

〒654-0155 神戸市須磨区西落合 2 丁目 1-6
TEL078-795-3786 FAX078-795-4498

〒654-0076 神戸市中央区吾妻通 4 丁目 1-6
コムスタ神戸 2F リサイクル工房あずま内
TEL/FAX 078-795-3786

至・総合運動公園



■私たちの活動にご協力ください

ゆうちょ銀行 振替口座 00960-7-108420
名義：神戸西助け合いネットワーク

【年会費】

個人会員 一口 5,000円
団体会員 一口 50,000円
（賛助会員は一口 10,000円～）

NPO 法人 神戸西助け合いネットワーク 私たちの活動ニュース

平成 22 年度活動報告
第 8 号
平成 23 年 4 月 1 日
発行人：在里俊一
特定非営利法人
神戸西助け合いネットワーク

がんばろう！
日本

力を合わせて ひろげよう 支援の輪

東日本大震災

がんばろう！
東北

震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、
被災者の皆さんに心からお見舞いを申しあげるとともに、
一日も早い復興に向けて可能な限りの支援をおこないます

私たちにできること

16年前の7月、私たち神戸西助け合いネットワークは、仮設住宅に住む人たちの支援をおこなう「市民・連合ボランティアネットワーク」の現地事務所として設置されました。

このたびの東日本大震災は、地震に加えて大津波さらに原発事故と、被害の範囲と規模が阪神淡路大震災と比較にならないほど大きくなっています。

まちや人々の暮らしが復興するまでに、16年前よりもさらに長期戦を強いられることが予想され胸が痛みます。

第一段階の、いのちの維持に必要な食糧や物資の支援は、十分とはいえないまでもすでに充足の兆しがあります。住まいについても全国の自治体からも公営住宅などの提供が続き、現地では仮設住宅の建設が始まっています。

これからは次の段階の支援が必要になってきます。当時、震災から生き延びたにも関わらず仮設住宅や復興住宅で命を落とす人たちが多くおられた経験からすれば、地域コミュニティの維持または再構築が大きな課題になってくるでしょう。住み慣れたまちを離れて不慣れた土地で、馴染みのない隣人たちと暮らすことは、特に高齢の方にとっては大変な負担になります。

今回は16年前の神戸の教訓を踏まえ、町ごと、あるいは地域ごとにまとまって避難や仮設住

宅への入居を進める動きがあるようですが、行政組織そのものが崩壊、消失した地域もあってそれも十分に行える状況にないことは容易に想像がつかれます。

今後、支援の主軸はモノから心へ移していくことも必要になります。もちろん被災者の皆さんが失った財産の総額ははかりしれないものであり、経済的支援も当分は必要ですが、これは国家レベルで制度なりを作って支援すべきことでしょう。

私たち神戸西助け合いネットワークは、今一度原点にもどり、広大な被災地が復興し多くの被災者があらたな日常を取り戻すまで、長期間にわたって息の長い支援を続けていかなければならないと考えています。

先日、被災された方々が神戸の方に来られましたので、物資などを支援しました。今後もたくさんの方々に来られることでしょう。また神戸だけでなく、現地へも定期的に支援に行く予定をしており、それに向けて皆さま方に義援金や支援物資のご提供をお願いいたします。ご協力をよろしくお願いいたします。

NPO法人 神戸西助け合いネットワーク
理事長 在里俊一

ホームページ：<http://www.kobe-tasukeai.com/>
メールアドレス：kobenishi-tasukeai@nifty.com

東日本大震災復興支援活動募金のご案内

下記口座へお振り込みいただくか、NPO事務所へご持参ください。

現金書留でもお受けしますがその際は「震災復興」と明記ください。

ゆうちょ銀行 振替口座 00960-7-108420 NPO法人神戸西助け合いネットワーク



平成22年11月20日から平成23年3月末まで

KOBE環境大学・エコエコ広場実施運営

神戸市環境局から平成22年度KOBE環境大学と長田区双葉小学校跡に11月に開所した「神戸市立地域人材支援センター」内、「エコエコ広場」の運営を受託しました。

センターのオープンイベントの一つとして開かれた「KOBE環境大学入門講座」。メディアでもおなじみのミスター植物学、甲南大学工学部教授の田中 修先生をお招きしてお話しいただきました。



講演

身近な植物の生き方から
環境を考える



エコエコひろば

KOBE環境大学の実施概要

入門講座に続いて、次の通りセミナーを開催しました。

基礎講座「ごみ問題（3R）」

- ①12月4日（土）リサイクル活動の楽しさ
NPO政策研究所専務理事 相川康子氏
- ②12月14日（火）施設のしくみを知ろう
市内関連施設見学
- ③12月18日（土）循環型社会について
加西市環境創造課 石野隆範氏

基礎講座「地球温暖化問題」

- ①1月22日（土）神戸の海を見つめて
水中写真家 宮道成彦氏
- ②1月29日（土）日本の森林を生かす
松下政経塾30期生 石井真人氏
- ③2月5日（土）新型太陽光ボイラーの周辺
技術者集団テクノスカフェ主宰 福寿喜寿郎氏
- 基礎講座「生物多様性」
- ①2月19日（土）六甲の植生と気候変動
(財)ひょうご環境創造協会 栃本大介氏
- ②2月26日（土）奥須磨公園と生きもの
奥須磨公園にトンボを育てる会 河合信彦氏
- ③3月5日（土）わたしたちにできる

環境の保全・再生

(株)里と水辺研究所 代表 赤松弘治氏

田中先生の講演は、サクラなど身近な植物を例に挙げて植物の不思議を、特にクイズ形式でわかりやすくお話しくださいました。

植物の働きのひとつ「光合成」については、仕組みは解明できたもののまだ人間が再現できないそうです。もしそれができれば太陽光と水といくつかの元素だけで人間の食糧である炭水化物を人工的に造ることができて食糧問題が解決。さらにCO2を吸収して酸素を排出する働きは、地球温暖化問題の解消にも結びつくのですが。

また日光・大気・温度などの変化によって植物たちが受ける影響から地球温暖化に代表される環境の変化、さらには日本の食料自給率にもお話がおよびました。

ラジオでもおなじみの先生独特の丁寧で判りやすい語り口に、受講者も大きな感銘を受けました。



自然エネルギーのさらなる活用推進へ

CO2 排出と資源枯渇が叫ばれる化石燃料、そして安全神話が崩壊した原子力発電…。

私たちはすでに「その先」を見すえて取り組んでいます。

導入しませんかソーラー発電 ～太陽光発電の普及活動にアイデアを～

平成18年11月に稼働を開始した名谷事務所の太陽光発電は今年で5年。

昨年1年間の総発電量は11,015Kwになり、関西電力への売電も2,315Kw、総額55,560円になりました。また見学者も1年間で50名が施設を訪れました。

売電価格は平成18年11月の当初より24円/kwhです。現在（平成23年3月）までの総売電価格306,851円になります。

私たちの施設だけでなく、これから住まいを建て替えよう、リフォームしようというみなさんへ積極的にお勧めして、太陽光発電の普及につとめていきます。ぜひ一度見学にお越しください。また普及啓発活動に関して、皆さんからのご意見、アイデアなどをお寄せいただくようお願いいたします。



天ぷら油回収は次のステップへ

～もったいない&CO2ゼロカウント～

平成19年11月に始めた天ぷら油の廃油を回収し、BDF(バイオディーゼル燃料)にリサイクルする取り組みは、加西市の「菜の花を育てる会」との協働で加西市の休耕田を借りて菜の花(ナタネ)を栽培しました。収穫したナタネを絞って食用油として使ったあとBDFにするという完結型の試みを行いました。

これからは名谷事務所を拠点に、須磨ニュータウンを皮切りとして、学園都市、西神南、西神などの各ニュータウンを巡回して食廃油の回収に向けて計画を進めています。

またこれまでBDF化は外部に委託していましたが、独自に小型プラントを導入し、事業の普及拡大に備える検討も行っています。なお回収車両は日本財団から提供される予定です。

また新たに始める事業として、現在知的障害者のための作業所を設ける準備を進めていますが、入所者の作業の一つとして食廃油回収作業も採り入れようと考えており、環境問題への積極的な取り組みとともに、障害者支援活動という、相乗的効果を目指しています。